

## 「第7回マンガ翻訳コンテスト」 募集開始!!

日本のマンガは、いまや世界中で「MANGA」として親しまれるようになりました。そして、その躍進に不可欠なのが「マンガ翻訳家」です。マンガ家が、魂を懸けて作り上げた作品も、翻訳がきちんとされなければ、世界の読者には届きません。日本の文化的財産であるコミック、マンガ文化のデジタル化を促進し、全世界に向かって、著作者とともにデジタルコミックの普及を推進することを目的とする団体であるデジタルコミック協議会は、「マンガ翻訳コンテスト」を通して、マンガ文化のもう一人の主役とも言える、マンガ翻訳家を志望する人々に、プロデビューのきっかけを与えたいと考えています。

2012年に始まったこのコンテストは、世界で唯一の出版社公認のマンガ翻訳コンテストです。過去6回の受賞者の中には、すでにプロの翻訳家として活躍を始めた方々もいます。第7回となる今回のコンテストへ、多くの応募をお待ちしております。

第6回となった前年度の「マンガ翻訳コンテスト (Manga Translation Battle)」でも、大賞及び作品賞を計3名が受賞、翻訳家としての道を歩み始めました。

[第6回マンガ翻訳コンテスト 対象作品・受賞者]

- ・大賞 対象作品：『ニューヨーク・ニューヨーク』（羅川真里茂/白泉社）  
受賞者：『Preston Johnson-Chonkar』氏
- ・作品賞 対象作品：『であいもん』（浅野りん/KADOKAWA）  
受賞者：『Cyrus Kwong』氏
- 対象作品：『ハチ参る』（遠藤淑子/秋水社）  
受賞者：『Stephen Kohler』氏

そして本年度も、前年度同様、文化庁メディア芸術連携促進事業のひとつとして、文化庁及びデジタルコミック協議会の主催で、「第7回マンガ翻訳コンテスト (Manga Translation Battle vol.7)」を実施することになりました。

株式会社ディー・エヌ・エーが運営する「MyAnimeList」の協力の下、公式サイトをオープンし、9月7日より応募を開始致しました。

詳細は次ページをご覧ください。

## コンテスト概要

日本語→英語への翻訳を対象とします。

応募開始	2018年 9月7日(金) ※日本標準時
締め切り	2018年 11月5日(月) ※日本標準時
応募資格	プロ・アマ、個人・チーム問わず、どなたでもご応募できます。
第1次審査	プロ翻訳家による翻訳の基礎レベルのチェック
最終審査	第1次審査通過作品は、MyAnimeList のウェブサイト上に公開され、オフィシャル審査員による審査の対象となります。
発表・授賞式	受賞者は2019年1月に発表され、大賞受賞者は、2019年2月上旬都内で開催予定の授賞式へのご招待と、副賞が授与されます。また、当該作品の翻訳者としてのデビューの道が開けます。

## 応募概要

以下のウェブページから、対象作品の中からひとつを選んで、応募してください。

<https://mtb7.myanimelist.net/index.html>

第7回となる今回は、初めてライトノベルという新しい分野も課題作品として加え、デジタルコミック協議会加盟各社に公募をし、バラエティに富んだ以下の3作品が翻訳対象作品となりました。

『egg star』（戸田誠二／株式会社 宙出版）

『みやこ美人夜話』（須藤佑実／株式会社 祥伝社）

『京都寺町三条のホームズ』（望月麻衣／双葉社）※ライトノベル作品

## 審査員

Debra Aoki	マンガジャーナリスト
Matt Alto	マンガ翻訳者
William Flanagan	マンガ翻訳者
木村智子	マンガ翻訳者/マンガ翻訳講座講師

マンガ、ライトノベルを愛し、翻訳を通してマンガを世界へ届ける志をもった沢山の方々の応募をお待ちしています。

主催：文化庁、デジタルコミック協議会

コンテスト運営協力：株式会社 電通/MyAnimeList

※本コンテストは平成30年度文化庁メディア芸術連携促進事業における連携共同事業として採択されています。

### ■本コンテストに関するお問い合わせ先

メール：[info@mangapolo.jp](mailto:info@mangapolo.jp)

電話：03-6216-8316（平日 10:00～17:00）

デジタルコミック協議会（事務局:電通内 担当：浅井）